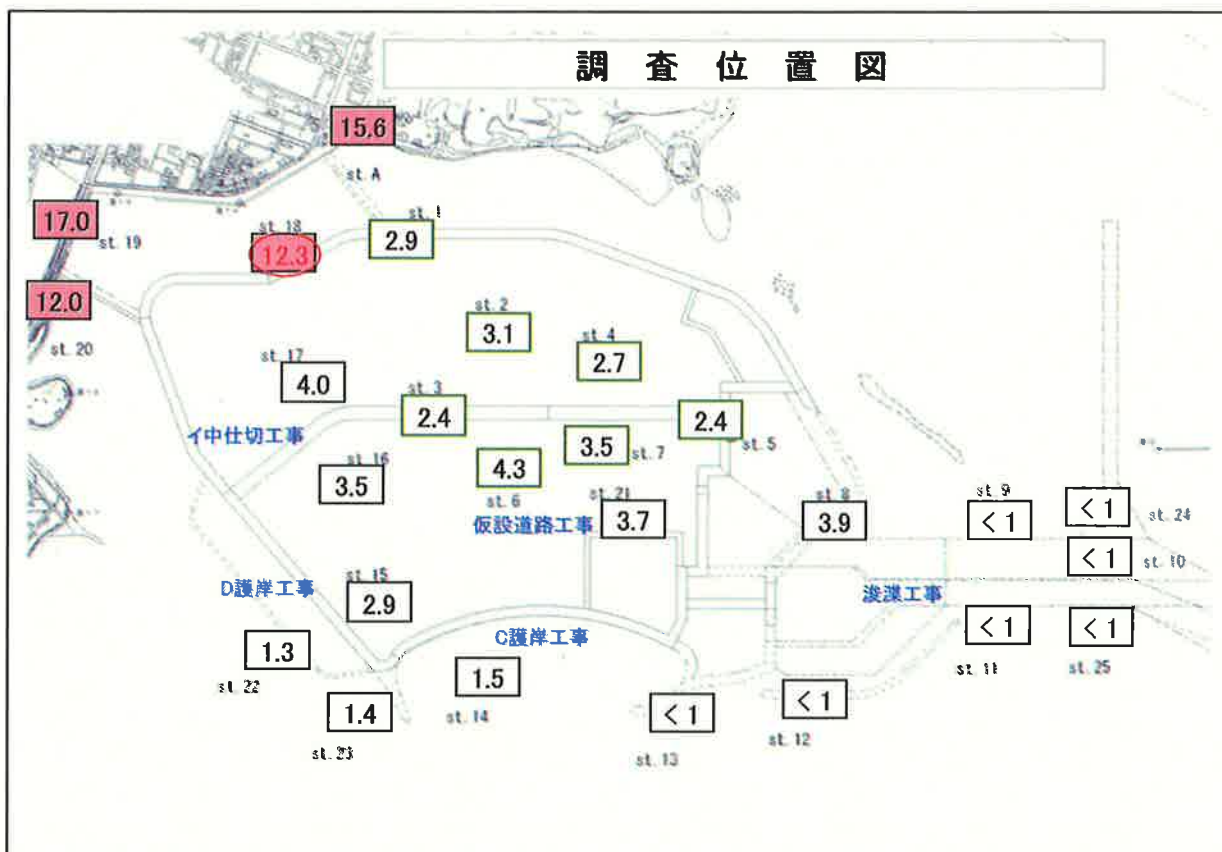


数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 11月 8日 (木) 15:00

| 気象状況 | 天気 | 風向 | 風力 | 潮汐 | 備考 |
|------|-----|---------|-------|-----|----|
| | 曇～晴 | ENE ~ E | 2 ~ 3 | 上げ潮 | |



濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点
 st.1~4 7mg/L
st.5~7 11mg/L
○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点
 st.8~18, 21~25 11mg/L
■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

| 工事の状況 | イ中仕切工事 | ・土のう運搬・設置 |
|-------|--------|-----------|
| | D護岸工事 | ・土のう設置 |
| | C護岸工事 | ・石材投入 |
| | 浚渫工事 | ・浚渫作業 |
| | 仮設道路工事 | ・土のう製作・据付 |

数値基準を超過した調査区域の状況

St.18において少し白濁が見られた。

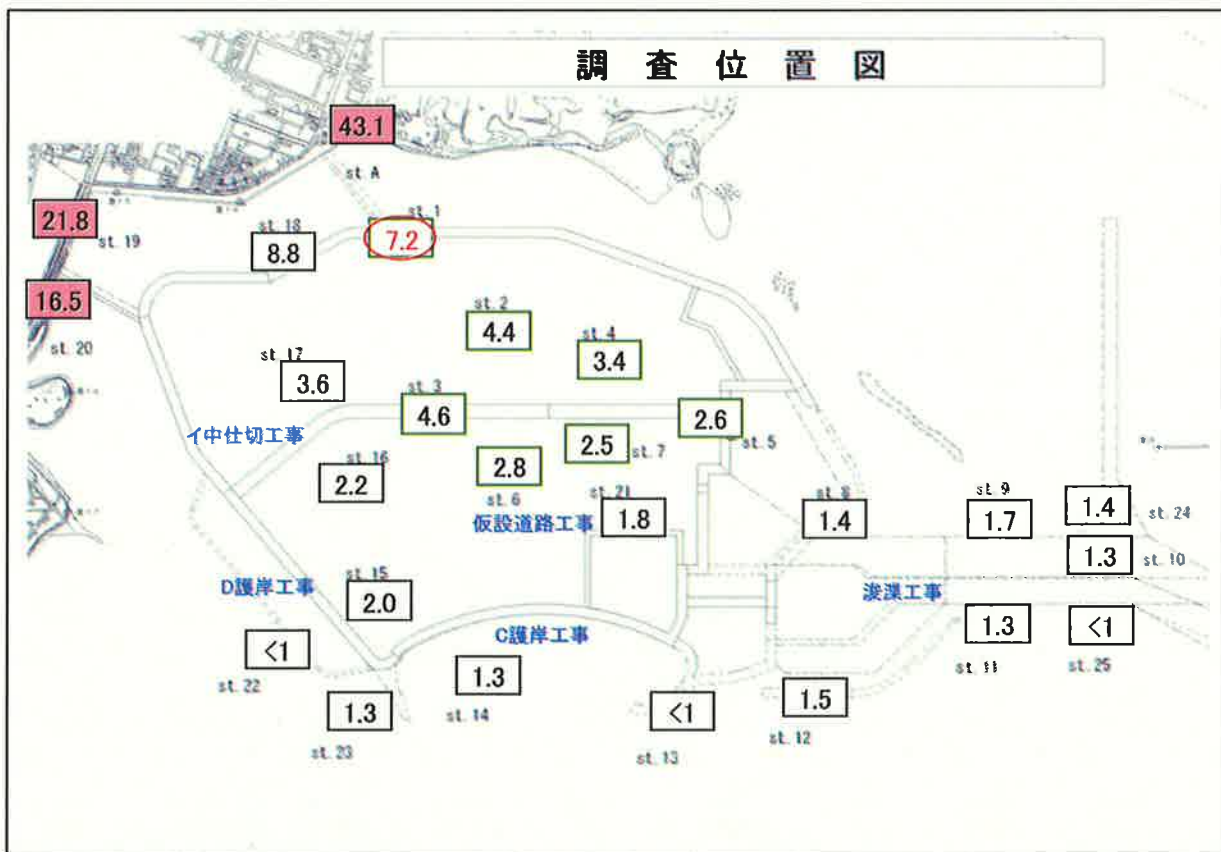
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は、St.18は周辺を干出域で囲まれた干潟の中の深みに位置していることから、降雨や低潮位時における底質の巻き上げが原因で、濁りが深掘部に滞留しやすい状況となっており、海水交換がされにくいことが影響していると考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 11月 11日 (日) 15:00

| | | | | | |
|------|----|---------|-------|-----|----|
| 気象状況 | 天気 | 風向 | 風力 | 潮汐 | 備考 |
| | 晴 | NNE ~ N | 3 ~ 5 | 上げ潮 | |



濁り(SS)監視基準

- クビレミドロ監視地点 st.1~4 7mg/L

○
 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点 st.8~18, 21~25 11mg/L

 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

| | | |
|--------------|--------|----------|
| 工事の状況 | イ中仕切工事 | ・作業はなし |
| | D護岸工事 | ・作業はなし |
| | C護岸工事 | ・捨石投入・均し |
| | 浚渫工事 | ・作業はなし |
| | 仮設道路工事 | ・作業はなし |

数値基準を超過した調査区域の状況

St.1,2,3,4,18において白濁が見られた。またSt.Aにおいて、生活排水臭が強く、排水口から濁水が見られた。

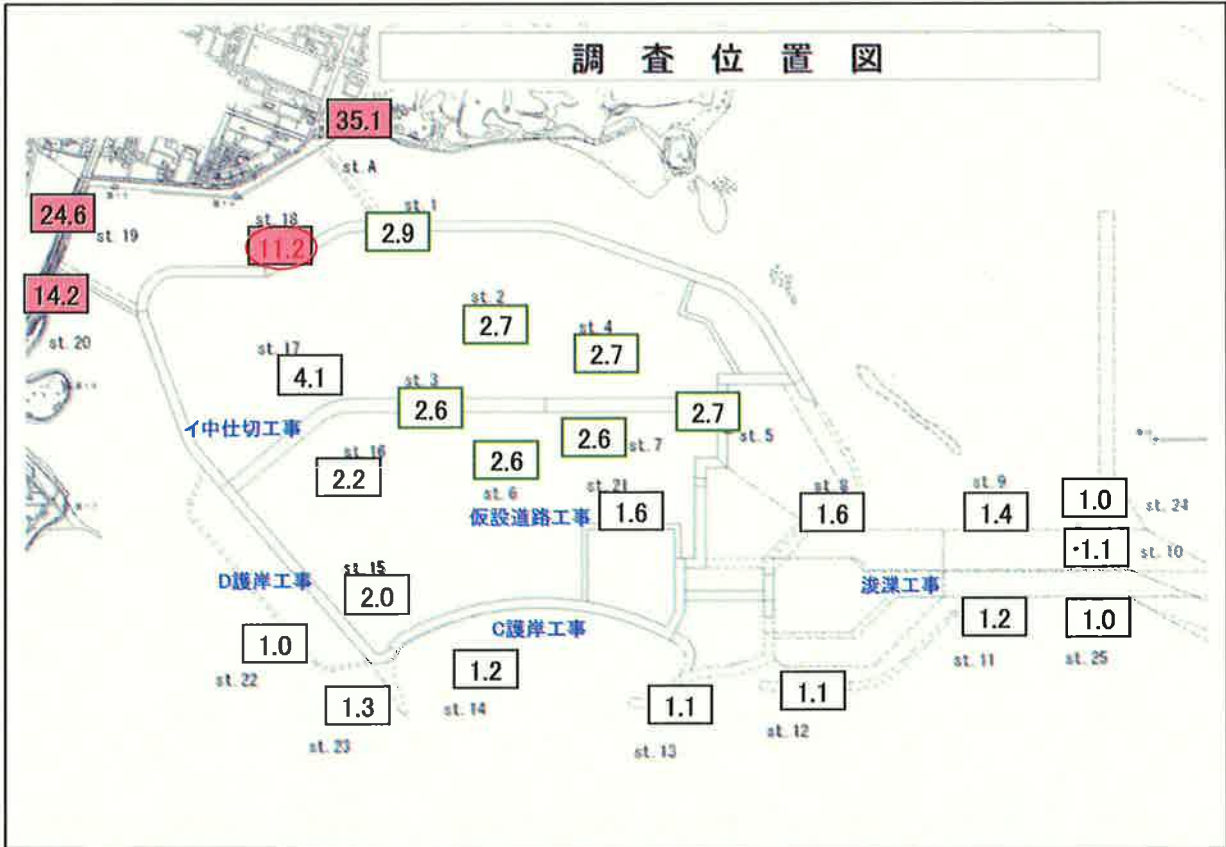
評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は北ないし北北東の風が強く(最大風力5)、海底の砂等が強風により巻き上げられた為と考えられる。

数値基準超過時における濁り(SS)の分布状況

平成 19年 11月 13日 (火) 15:00

| 気象状況 | 天気 | 風向 | 風力 | 潮汐 | 備考 |
|------|----|----------|-------|-----|----|
| | 晴 | NE ~ ENE | 1 ~ 3 | 上げ潮 | |



濁り(SS)監視基準

- クビレミド口監視地点
 st.1~4 7mg/L
st.5~7 11mg/L
○ 数値基準を超過した濁り(SS)が確認された地点
 - 工事の濁り監視地点
 st.8~18, 21~25 11mg/L
■ 濁り(SS)が11mg/Lを超えた地点
- (st.19、20、Aは監視地点ではないため、基準値は設定されていない。)

| 工事の状況 | イ中仕切工事 | ・海砂運搬・投入 |
|-------|--------|-----------|
| | D護岸工事 | ・石材投入 |
| | C護岸工事 | ・作業はなし |
| | 浚渫工事 | ・浚渫作業 |
| | 仮設道路工事 | ・土のう製作・据付 |

数値基準を超過した調査区域の状況

特になし

評価

工事箇所周辺における濁り(SS)は、基準超過が確認された地点よりも低い値であった。基準値を超過した要因は、St.18は周辺を干出域で囲まれた干潟の中の深みに位置していることから、降雨や低潮位時における底質の巻き上げが原因で、濁りが深掘部に滞留しやすい状況となっており、海水交換がされにくいことが影響していると考えられる。

